

# プラスファ通信

14号



## 今月のテーマ 企業の生産性向上について

現在、横溝会計では「生産性向上」という課題について目下取り組み中です。代表の私も、毎日必ずちょっとでもこの課題について考えるようにしています。「生産性向上」これがなかなか難しい。

例えば、会計事務所業界では数年前から、アジアの中国やベトナムなどにある会計センターに仕訳業務をアウトソーシングしたりクラウドやAIを活用した生産性向上が増えてきています。

この生産性向上を考えると、よく使われる言葉に「製販分離」という言葉があります。そもそも、製造部門と販売部門を分けることで、業務を分けし効率的に業務を回すことを指す言葉でしたが、最近では幅を広げて、例えば会計事務所であれば「入力業務」と「提案(付加価値)業務」に区分して業務の効率化を図る言葉として良く使用されます。

私、この製販分離という言葉がいつもどこか好きになれないんです。会計事務所において、製販分離を進めていくということは、入力業務を、あたかも工場のベルトコンベアのような業務におとしてしまう危険があると思っています。

ここに愛がないのが嫌い。

製販分離を行うこと自体は生産性向上に直接寄与するわけではありません。むしろ、製販分離を進めていくと、各担当者が自分のテリトリーを作ってしまう、自分の担当以外は「そこは自分の仕事でないから」という組織に壁ができてしまう弊害を伴います。結果として組織の成長に障害が生じてしまう例も多いようです。

生産性向上に大事なものは、業務を分け捨てることではなく、その仕事をどんどん「改善」していく姿勢が生まれてくる組織体になること。そして、その改善の意識を吸い上げ、評価し、還元してあげる仕組みを作ることが非常に重要だなと感じるようになりました。生産性向上のために、例えば、業務を分けること、各人の担当範囲を明確にすることが、組織の成長のために、またスタッフの成長のために、なぜ必要なのか？これをきちんと浸透させることが先決なんだと思います。

私の取り組みも、まだまだこれからです。皆様にお届けできるのにはまだまだ時間がかかりますが、必ずや皆様にもその成果をお届けできると信じて邁進してまいります！

というわけで、私たちの納品させていただく決算書、申告書、総勘定元帳、もらって箱のまま倉庫行き。。。ということがありませんか？横溝会計の決算書は、愛が溢れた成果物となっています。どうぞ可愛がってあげてください！

## 6月からのふるさと納税にご注意を！

ご存知の方も多いと思いますが、6月1日よりふるさと納税制度に規制が入ります。大きくは、①右表の4つの自治体への寄付金はふるさと納税対象外、他の自治体についても、②返礼割合は3割以下のものに限定、③返礼品は地場産品に限定とのルールに変わります。

そのため、6月以降の寄付については、ふるさと納税制度の適用となるか、ただの寄付となるか、慎重に行ってください。

なお、今回のふるさと納税の規制については、6割の方が賛成だったとの記事もあります。私も個人的には賛成です。

また、実務的な愚痴を申しますと、、、ふるさと納税、これ確定申告の際のお手間はかなりかかるんです。1件1件詳細に入力していくのですが、数件ならまだしも中には何十件と申請されるお客様も。。。適度な量の申請を心よりお願い申し上げます。

No	自治体名
1	静岡県小山町
2	大阪府泉佐野市
3	和歌山県高野町
4	佐賀県みやき町

## 東京オリンピック2020 観戦チケット申し込み終了

5月29日(水)AM11:59をもって、東京2020大会オリンピック観戦チケットの抽選申込受付が終わりましたね。抽選結果の発表は6月20日(木)というのだから、インターネット申込みに限定した甲斐もあって非常に早いですよね。

私も、チケット購入してみました！せっかくだからと、開会式A席をとってみたいなら1人なんと30万円！2人まで申し込めるので申し込んだら、これだけで60万円！！何だかんだで申し込み上限30枚買ってみたいなら、総額270万円！！もちろん、全て当選したらですが大変なことになりますね。(汗)

次回のプラスファ通信では当選結果も発表できると思います。ご期待ください！

オリンピックを何とか仕事につなげられないかなーと考えております。皆様の事業ではいかがでしょうか？

